

新事業に挑む

活路求める建設業

〈4〉

工務店を持ち、建設新しいことをしている業とかかわりながら、という意識は低い」と「住と食、相互作用で話す。

地域とつながりを深め、「いいモノを作ろうたい」と、昨年から今という美意識、お客様年にかけてカフェとつへの接し方、地場産へどん屋という2つの飲のこだわり「住」で

食店をオー義われたスキルはその
ブンさせ まま『食』産業に生き
た。丹羽社 てくる。こく自然な流
長は「建築 れなんです」。

と飲食、根 昨年7月にオープン
底にある部 した「グリーンズ・カ
分は同じ。フェ」はスタイリッシ

飲食店経営

◇丹羽設計企画（斜里町豊倉55-11丹羽豊文社長）

住と食を通した循環型ビジネス

ユな北欧風デザイン、エコにこだわった素材の「丹羽アイスト」を凝縮し、モデルハウスとしての役割も担う。

「建てて引き渡して 築屋さんのイメージ 食業へ進出した。終わりでではなく顧客と が定着し、若い世代か のコミュニケーション からの新築需要も増えた。スペースを持ち、継続 今年7月には管内で 的なのつながりを持ちた は数少ないという専門 店「ダイニングハウス 『丹羽ファミリー』の 来客のうち3分の1 隠れ家」も駅前を開 輪が広がっていけば、 はOB客だという。店 店、建築業のサポート 後はカフェで建築イ 内でお茶や料理などを 的役割を兼ねるカフェ ベントやセミナーも開 注文しながら打ち合わ 材にこだわった実験の った。

「カフェも経営する建 場」として本格的に飲 った。」

（中山）



丹羽設計企画が経営する「グリーンズ・カフェ」